



Nakagwa Kazumasa Art Museum, Manazuru Town 30th Anniversary Exhibition

開館 30 年記念展

中川一政美術館の軌跡^{きせき}

画家中川一政の原点、美術館のはじまり、中川芸術の深化を辿る^{たど}展覧会

平成元（1989）年3月に開館した真鶴町立中川一政美術館は、平成30（2018）年度に開館30年を迎えます。開館以来中川一政画伯とご遺族の方々から寄贈を受けた作品の展示や、画伯と交友のあった芸術家とのコラボレーション企画展を通して中川一政の芸術世界について深く掘り下げてきました。

この度は開館30年記念展覧会として、「開館30年記念展 中川一政美術館の軌跡」を開催いたします。

本展は、開館30年を区切りに、中川一政の画家としての原点に立ち返るため、一政の自作と画家の創作活動と人生に多大な刺激と影響を与えた周辺の作家たちの作品を展覧するとともに、開館当時の展示の再現を試み、中川一政の画業^{いのち}と美術館30年の軌跡を辿ることを目的としています。また、この展覧会を通じて、「生命の画家」中川一政の全体像について新たな視座を見出だしていきます。

一 展覧会概要

- 展覧会名 開館30年記念展 中川一政の軌跡
 - 会 期 2018年9月22日（土）～12月23日（日）
 - 開館時間 9:00～16:30（入館は16:00まで）
 - 休 館 日 毎週水曜日
 - 会 場 真鶴町立中川一政美術館（神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1178-1） TEL：0465-68-1128
 - 観 覧 料 一般800（700）円 高校生以下450（350）円
 ※（ ）内は20名以上の団体料金
 ※未就学児は入館無料
 ※各種障がい者手帳の交付をうけた方は入館無料
 ※真鶴・湯河原町民の入館割引あり
 - 出品作家 中川一政／石井鶴三／梅原龍三郎／岸田劉生／木村莊八／小杉放菴／高村光太郎／椿貞雄／長與善郎／武者小路実篤
 萬鉄五郎／山本鼎／ジョルジュ・ルオー／ポール・セザンヌ／フィンセント・ファン・ゴッホ 他（順不同）
 - 主 催 真鶴町立中川一政美術館（真鶴町教育委員会）
 - 後 援 日本経済新聞社／神奈川新聞社
 - 協 賛 一般社団法人真鶴町観光協会
 - お問合せ 真鶴町立中川一政美術館 TEL：0465-68-1128
 - アクセス
- 【電車】 ○東京方面から JR 東海道線小田原駅（下り方面）より13分 JR 真鶴駅にて下車
 ○大阪方面から JR 東海道線熱海駅（上り方面）より9分 JR 真鶴駅にて下車
 真鶴駅からはバスまたはタクシーにてご来館ください。 駅前観光案内所ではレンタルサイクルも貸し出しております。
- 【バス】 ○JR 真鶴駅ロータリーより「中川一政美術館」停留所下車徒歩1分
 ①（株）伊豆箱根バス「ケープ真鶴」ゆき（約15分） ② コミュニティバス真鶴線（約14分）
- 【車】 ○東京方面から東名高速道路・厚木 IC→小田原厚木道路→西湘バイパス→国道135号線（真鶴道路旧道）→真鶴駅前信号左折
 ○関西方面から 東名高速道路・沼津 IC→国道1号線→国道136号線→熱海・函南線（県道11号線）→国道135号線→真鶴駅前信号右折 →真鶴半島内へ約7分

一本展覧会のみどころ

- 中川一政と交流のあった作家とのコラボレーション展示
- 開館当時の出品作の展示（中川一政本人による監修）
- 処女作《酒倉》（1914年）と絶筆「静物 薔薇」（1990年）を公開
- 油彩を中心に岩彩、挿画、書などの作品を通して中川芸術の世界を堪能できる内容
- 展覧会と合わせて一政アトリエ復元を見学（時間制）

一展示構成一

出品点数90点

第1章：中川一政創作の原点 一政と周辺の作家たち

1914（大正3）年、当時21歳の中川一政は、神戸港で欧州航路船の司厨長北村亮造から英国製の油絵具を送られ、当時逗留していた芦屋深江にて処女作《酒倉》を描きました。本作は、同年10月に開催された「異画会第14回展」で初入選を果たし、さらに翌1915（大正4）年の異画会第15回展では「霜のとける道」・「監獄の横」などが、この年最高の二等賞を受賞しました。このことを契機に一政は画家として生きることを志しました。

また、異画会への出品により画家岸田劉生の知遇を得、やがて武者小路実篤や長与善郎、志賀直哉といった同人誌『白樺』の人々との交流がはじまります。さらに、1915（大正4）年には草土社の創設、1922（大正11）年には春陽会の創設に客員として携わることとなりました。独学で絵の道を歩んでいた一政にとって、同じ志を持つ仲間たちと親交を深めたことは、画家として、また一政の人生にとって大いなる刺激となりました。しかし一方で、自身の作風や画家としての在り方を考え、様々な葛藤を生むことにもなりました。これまで当館では、企画展として、折々で画家中川一政の人生に影響を与えた周辺の作家たちと交流展を開催し、中川一政の創作活動とその人生を追究してきました。本章では、岸田劉生、小杉放菴、梅原龍三郎、木村荘八、石井鶴三、椿貞雄、武者小路実篤らの作品を一政の作品とともに展覧し、一政の創作の原点を浮かび上がらせませす。

第2章：美術館のはじまり

中川一政は、昭和24（1949）年に^{アトリエ}画室を構え、平成3（1991）年に98歳を目前にして亡くなるまでの間、神奈川県真鶴町を拠点に戦後の日本洋画壇の中心的存在として活躍しました。真鶴町立中川一政美術館は、中川一政が町へ作品を寄贈したことにより、その業績と芸術を顕彰するべく平成元年3月に開館しました。本章では、まず、平成元年3月開館当時の展示を再現します。当時の展示内容と構成は一政本人が監修しており、当時の展示を顧みること、画家の作品と創作に対する想いや情熱について振り返ってゆきます。また、当館では、30年の間に油彩、岩彩、書、陶器、挿絵、装丁原画、さらには一政がコレクションしていた古今東西の美術品などの収蔵作品の展覧を通して、一政の画業の変遷や芸術領域の深化を辿ってきました。本章では、多彩な収蔵品のうちから厳選した作品を紹介し、美術館が作り上げてきた中川一政の「軌跡」を概観していきます。



《霜のとける道》油彩、1915年



《金魚》岩彩、1983年



《正念場》書、1989年

一 展覧会関連イベントのご案内一

◆ ギャラリートーク 事前申し込み不要

10月13日(土) / 10月27日(土) / 11月3日(祝・土)
11月10日(土) / 11月23日(祝・金) / 12月8日(土)

当館学芸員が本展の見どころを解説いたします。

【時間】14:00~14:30 【定員】各回25名

○参加を希望される方は14時に美術館1階ロビーにお越しください。

○参加にあたっては、観覧券が必要となります。

◆ ミュージアムリレー 第253走 10月19日(金)

「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会」加盟館によるリレー形式の催しです。当館学芸員が展示と別館アトリエを解説付きでご案内します。

【時間】10:00~12:00 【定員】50名

【申込先】真鶴町立中川一政美術館 (TEL: 0465-68-1128)

申込期限: 10月17日(火) 16時まで

【参加費】観覧料 大人300円

◆ 0才から6才児のための鑑賞会 10月31日(水)

未就学児のお子さんとそのご家族が気兼ねなく美術館を楽しんでいただける開館日を設けます。事前申し込み不要

【時間】10:00~15:00 (入館は14:30まで)

【対象】未就学児とそのご家族

【参加費】未就学児: 無料 / 同伴のご家族: 特別料金 (400円)

◆ 中川一政美術館 茶会 12月2日(日)

中川一政自作の茶碗でお茶を一服お楽しみいただけます。

【時間】10:00~15:00

【会場】真鶴町立中川一政美術館1階特別室(茶室)

【参加費】参加費がかかります(観覧料を含みます)

○詳細については、後日ホームページ等でご案内いたします。

各種イベントは一部内容が変更となる場合がございます。

中川 一政 Kazumasa Nakagawa (1893-1991)



中川一政 (撮影: 岡畑孝二氏)



絶筆《静物 薔薇》油彩、1990年

1893(明治26)年、東京の本郷で生まれる。文芸誌「白樺」により日本に紹介されたゴッホやセザンヌの作品に触発され、絵の道に進む。

1914(大正3)年、21歳で描いた処女作「酒倉」が第14回翼画会において入選。翌年にも最高賞の二等賞を受賞。岸田劉生が組織した草土社を経て春陽会の会員となり、以降、会の中心メンバーとして戦後日本洋画壇を引っ張っていく存在となる。

1949(昭和24)年に神奈川県真鶴町にも画室を構え、この町を拠点として創作活動を行う。

1960年(昭和35)年5月、全国知事会から東宮御所に『漁村凱風』が献納される。12月、歌会始の召人に選ばれる。

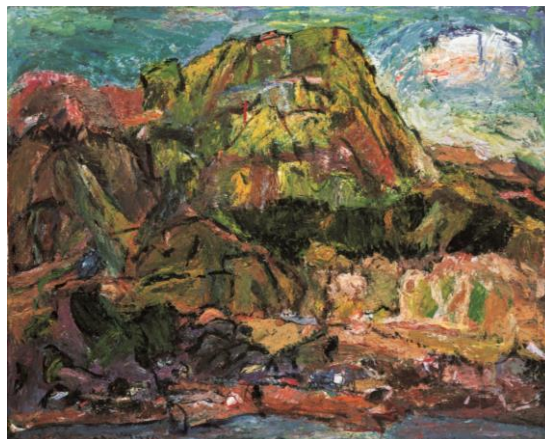
1975(昭和50)年には画家としての業績が称えられ、文化勲章を授賞。

1986(昭和61)年、母の故郷である石川県松任市(現:白山市)に松任市立中川一政記念美術館(現:白山市立松任中川一政記念美術館)が開館。

1989年(平成元)年には、アトリエのある神奈川県真鶴町に真鶴町立中川一政美術館が開館。

1991(平成3)年に98歳を目前にして亡くなるまで、精力的に創作を続けた。油彩を中心に、水墨、岩彩、書、陶芸、挿画、本の装丁等の分野にも多くの優れた作品を残している。

なお、本年は、中川一政生誕125年の節目の年でもある。



《駒ヶ岳》油彩、1980年

次回展示案内 2019年1月4日(金)~3月26日(火)

平成30年度第3回テーマ展示

「中川一政と禅 - 奇僧風外慧薫の世界とともに -」

本資料と取材等に関するお問い合わせについて

〒259-0201 神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴1178-1

TEL 0465-68-1128 FAX 0465-68-1126 / 担当: 加藤

ホームページ <http://www.nakagawamuseum.jp>

真鶴町立

中川一政美術館

